

役員等

総 長

理事・副学長

監事

総長参与

総長特命補佐

理事

運営体制

総 長

総長選考会議

総長特命補佐

部局長会議

学術研究機構会議

附属病院連携機構会議

室連絡協議会

総合計画室

教室

研究推進室

財務室

グローバル連携室

産学連携室

男女共同参画・社会学連携室

人事労務室

情報推進本部

産学連携本部

海外拠点本部

安全衛生管理部

環境・エネルギー管理部

役員室だより

総長からの挨拶

6年間で力強い

大阪大学の礎を築く

～一人ひとりの「真価」を阪大の「進化」に～

このたび、大阪大学第18代総長に就任いたしました西尾章治郎です。

大阪大学は、大阪府市民ならびに大阪の政財界の強い要望を受け、1931年に第6番目の帝国大学として創立されました。そして、その源流は江戸時代の懷徳堂と適塾に見出すことができます。この二つの学問所の学風と精神を今も継承し、先進性とたゆまぬ挑戦性を基軸に教育研究に取り組み、さらに2007年に大阪外国語大学との統合という大事業を経て、我が国有数の研究型総合大学として発展を続けております。

ご承知のように国立大学を取り巻く環境は急激に変化しています。たとえば、グローバル化の波は猛烈な勢いで押し寄せてきています。また、人材育成や産学連携において国や社会からの強い期待と要請があります。卓越した教育研究を推進することと並んで、市民や社会の負託に応えていくことは大学の重要な責務の一つです。

このような中において、大阪大学は多様性を受け入れ、変化への柔軟性を発揮し、個性を貴ぶ気風があります。さらに、高度な教育研究力、教職員の和の力、そして伝統の重みと大阪という地の利が織りなす卓越した「基盤」と「力」を有しています。私はこれらの優れた潜在力を活かし、「一人ひとりの真価」を「阪大の進化」に繋げていくことで、確固たる大阪大学の基盤を築いていく決意です。さらに、大阪大学が有する多様な「知」が連携し合う

こと（協奏）、また、卓越した「知」を今後とも教職員・学生が共に創出（共創）し続け社会や世界に還元していくこと、つまり、「知の協奏と共創」を究めていきます。

2003年3月に制定した大阪大学憲章の基本理念には、「対話の促進」「自律性の堅持」が謳われています。すなわち、教職員ならびに学生が立場にとらわれず対話を通じて相手を尊重し、直面する課題に対しては自らの意思においてその解決に信念を持って取り組むことを意味しています。私は、これらの基本理念を特に重視し、キャンパス内で広く実行されていくことを目指します。

「不易流行」という言葉がありますが、国立大学の使命と役割において、変えてはならない所、変わらねばならない所があると思います。よき伝統を堅持しながら、社会や市民の声に柔軟に応えることが大切です。私はこのような姿勢を重んじつつ、これからの6年間、大阪大学の進化、発展のために全力を尽くしていく所存です。

みなさま方のさらなるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年8月26日

大阪大学総長

西尾 章治郎



理事からの挨拶

理事・副学長
（総合計画、評価、広報担当）

三成 賢次

（みつなり けんじ）



このたび、総合計画・評価・広報担当の理事・副学長に就任しました。総合計画室の室長を務めます。今年度は第3期中期目標・中期計画の原案作成などの重要な課題に対応しなければなりません、とくに近年、改革の具体的な計画（数値）の提示と客観的なデータに基づいた自己評価がますます強く求められています。本学でも、そうした要請に的確に対応できるよう、計画・評価に係る組織整備をさらに進めたいと考えます。

また、広報では、大阪大学のブランディングと認知度の向上が課題です。全学的に展開している種々の広報相互の連携を強化しつつ、戦略をもった広報を展開して行きたいと思います。そして、グローバル化の時代にあつては、ダイバシティを踏まえたキャンパス整備が不可欠です。世界屈指の大学に相応しいキャンパス作りを、私たちは進めて行かなければなりません。

西尾総長のもと、対話を基本とした大学運営を図っていきたいと思いますので、皆様のご支援をお願いします。

【略歴】

昭60. 3 大阪大学大学院法学研究科公法学専攻後期課程修得退学
60. 4 大阪大学助手法学部
62. 4 大阪大学助教授法学部
平 9. 7 大阪大学教授法学部
11. 1 博士（法学）（大阪大学）
11. 4 大阪大学教授大学院法学研究科
14. 4 大阪大学評議員（平16. 3まで）
16. 4 大阪大学大学院法学研究科長・法学部長（平20. 3まで）
19. 8 大阪大学総長補佐（平21. 8まで）
20. 5 大阪大学教授大学院法学研究科附属法政実務連携センター
23. 4 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター長（平27. 8まで）
24. 4 大阪大学理事補佐（平27. 8まで）
27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

理事・副学長
（教育担当）

小林 傳司

（こばやし ただし）



本年8月26日より、教育担当の理事・副学長を務めることになりました。西尾総長のもと、改めて室体制を整備し、大阪大学の教育の充実に尽力したいと思います。歴史を繙けば明らかなように、大学の原点は教育にあり、優れた人材を社会に送り出すことが大学の最大の社会貢献です。かつて、企業研究所など研究に専念する組織が作られましたが、研究面での大学の優位は崩れてはいません。人材育成の機能と研究は相乗効果を示すものであって、背反するものではないというのが、世界の大学の経験から明らかになってきたことです。

教育を大事にすることによって、優れた研究成果を生み出すという好循環を創ることが今重要だと考えています。多様な知の協奏と共創という西尾総長の言葉は、教育にも研究にも当てはまります。再び教育の阪大と呼ばれるようになることを目指したいと思います。みなさまのご協力をお願いいたします。

【略歴】

昭58. 3 東京大学大学院理学系研究科科学史・科学基礎論専攻博士課程修得退学
58. 4 法政大学兼任講師（非常勤）（昭61. 3まで）
59. 4 青山学院大学非常勤講師（昭62. 3まで）
62. 4 福岡教育大学講師教育学部
平 1. 4 福岡教育大学助教授教育学部
2. 4 南山大学文学部助教授
11. 4 南山大学文学部教授
12. 4 南山大学人文学部教授
15. 4 南山大学社会倫理研究所所長（平17. 3まで）
17. 4 大阪大学教授コミュニケーションデザイン・センター
27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

役員室だより

理事・副学長
(研究、リスク管理担当)

八木 康史

(やぎ やすし)



大阪大学が、世界水準の研究型大学として存続し、さらなる発展を目指すためには、すべての分野において基盤研究力の強化が図られ、加えて、全学を通じての「分野横断的」な活動を展開し、世界最高水準の研究拠点を形成する、研究活動の「多面的・多角的な展開」、「知の協奏からの知の共創」をより一層促進することが不可欠です。また、超ビッグデータが扱われる時代において、研究分野を問わず、ビッグデータの高度な統合利活用が、新しい科学的発見による知的価値の創造につながると考えます。大阪大学の研究力強化に向け、ビッグデータの利活用促進環境の構築、～ Open Education, Open Science, Open Innovation ～が活発に行える、文理融合も含む学祭融合的研究の推進に、研究担当として努めたいと思います。また、リスク管理担当者として、健全で安全な研究活動、職場環境が保たれるように、日常的啓発活動、教育・研究環境の維持に全力を尽くしますので、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

【略歴】

- 昭60. 3 大阪大学大学院基礎工学研究科物理系専攻前期課程修了
- 60. 4 三菱電機(株) 応用機器研究所研究員
- 平 2. 10 大阪大学助手基礎工学部
- 3. 3 工学博士(大阪大学)
- 5. 4 大阪大学講師基礎工学部
- 8. 4 大阪大学助教授基礎工学部
- 9. 4 大阪大学助教授大学院基礎工学研究科
- 15. 4 大阪大学教授産業科学研究所
- 24. 4 大阪大学産業科学研究所長(平27. 8まで)
- 25. 4 大阪大学経営協議会委員(平27. 8まで)
- 27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

理事・副学長
(財務、情報担当)

小川 哲生

(おがわ てつお)



このたび、財務・情報担当の理事・副学長として働く機会をいただきました。同時に、情報推進本部長(CIO)、附属図書館長、渉外本部長等も兼務いたします。大学の基本である教育研究活動を積極的に進めるために、財務基盤の安定化、合理的予算配分と執行、適切な資金管理と運用など、経営力を強化しなければなりません。また、喫緊の課題である「大学改革」を実行することは、「財政改革」を断行することでもあります。そこで特に、第3期中期目標期間全体を見据えた財政ビジョンの策定、持続可能な大学運営のための学内事業の見直し、意思決定過程の透明化を進め、さらに進んだ財務戦略を実行します。また、自主財源の安定的確保のために、渉外活動にもさらに注力します。成長のためには変化しなければなりません。「不易流行」を心に留めながら、局所的・対症療法的ではなく大局的・総合的視点からの財務運営を、教職協業によって進めます。「現状を鵜呑みにしない」「原理や基本に戻って考える」をモットーに、「激励する・応援する」気持ちの財務担当理事になるつもりです。大先輩から、ゲーテの名言「急がずに、だが休まずに」を贈っていただきました。財務だけでなく、教育研究環境のインフラとして重要な附属図書館や情報システムの充実に向けても、急がず休まず減私奉公の努力をしますので、皆様のご協力・ご理解をよろしくお願いいたします。

【略歴】

- 昭63. 9 東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻第1種博士課程退学
- 63. 10 東京大学助手工学部
- 平 2. 4 日本電信電話株式会社基礎研究所研究主任
- 2. 12 工学博士(東京大学)
- 5. 10 大阪市立大学工学部助教授
- 8. 8 東北大学助教授大学院理学研究科
- 12. 5 大阪大学教授大学院理学研究科
- 24. 4 大阪大学理事補佐(平27. 8まで)
- 26. 4 大阪大学教育研究評議会評議員(平27. 8まで)
- 大阪大学大学院理学研究科附属基礎理学プロジェクト研究センター長(平27. 8まで)
- 27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

理事・副学長
(グローバル連携担当)

星野 俊也

(ほしの としや)



このたび、西尾章治郎総長のもとで本学のグローバル化のさらなる推進と整備を担当する理事・副学長を拝命いたしました。新体制下では、従来の国際交流の枠を超えた「グローバル連携室」を立ち上げ、ダイナミックに本学の世界展開を進めてまいります。本学にとって「グローバル化」は新しいことでも特別なことでもなく、「日常」です。だからこそ、グローバル連携を担当する理事としては、本学における教育、研究、産学連携、広報、社学連携、男女共同参画といった各分野でのいっそうの世界展開に向けた環境を「横串」として支え、整備していく役割があると考えています。そのためにも、海外の有力な大学や研究機関はもとより、政府や国際機関、市民社会との連携の拡大、本学の知的なりソースを用いた国際協力の推進、本学方式の教育・研究等のモデルの世界標準化、大阪・関西の立地を最大限に生かし、地域を挙げてのグローバル化の推進などに取り組んでまいります。

【略歴】

- 昭61. 3 東京大学大学院総合文化研究科国際関係論専攻修士課程修了
- 63. 4 外務省在アメリカ合衆国日本国大使館専門調査員(平3. 3まで)
- 平 3. 5 財団法人日本国際問題研究所研究員
- 4. 3 東京大学大学院総合文化研究科国際関係論専攻博士課程修得退学
- 7. 4 財団法人日本国際問題研究所主任研究員
- 10. 4 大阪大学助教授大学院国際公共政策研究科
- 15. 3 博士(国際公共政策)(大阪大学)
- 15. 7 大阪大学教授大学院国際公共政策研究科
- 18. 8 国際連合日本政府代表部公使参事官
- 20. 8 大阪大学教授大学院国際公共政策研究科
- 23. 4 大阪大学大学院国際公共政策研究科長(平26. 3まで)
- 23. 8 大阪大学総長補佐(平26. 3まで)
- 26. 4 大阪大学副学長(海外拠点、国際問題担当)(平27. 8まで)
- 27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

理事・副学長
(産学連携、病院運営担当)

吉川 秀樹

(よしかわ ひでき)



このたび、産学連携ならびに病院運営担当の理事・副学長を拝命いたしました。産学連携では、大学内に産業創出拠点を導く「Industry on Campus」構想を継承し、「共同研究講座」や「協働研究所」を増設し、産学連携活動をさらに推進したいと思います。また、国立大学法人出資事業の第1号となる大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC)による投資ファンドの活用により、「官民イノベーション」の実現にも積極的に取り組みたいと考えております。今後も、未来志向の産学連携ネットワークと人材育成事業を強化し、阪大発の革新的なイノベーション創出に努力したいと考えています。一方、医学部附属病院は、本年7月、臨床研究中核病院に認定されました。特定機能病院、地域中核病院として、質の高い信頼される医療を国民に提供するとともに、世界に発信できる革新的な医薬品・医療機器の開発に貢献したいと考えています。全学の皆様方の暖かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【略歴】

- 昭58. 3 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了
- 大阪大学医学博士の学位授与
- 58. 4 大阪大学医学部研究生
- 59. 5 大阪大学医学部附属病院医員
- 59. 9 米国カンザス大学研究員
- 60. 9 大阪大学医学部研究生
- 61. 1 大阪大学助手医学部
- 平 5. 7 大阪大学講師医学部
- 7. 4 大阪府立成人病センター病院整形外科部長
- 10. 9 大阪大学講師医学部
- 11. 4 大阪大学講師大学院医学系研究科
- 11. 11 大阪大学教授大学院医学系研究科
- 24. 4 大阪大学医学部附属病院院長(平26. 3まで)
- 大阪大学総長補佐(平25. 8まで)
- 25. 8 大阪大学副学長(病院運営担当)(平成26. 3まで)
- 27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

役員室だより

理事・副学長
(男女共同参画、社会学連携担当)

工藤 眞由美

(くどう まゆみ)



地域の文化機関としての社会的責任を果たし、男女共同参画を求める社会の要請に応えるべく、ダイバーシティを根幹に据えた世界屈指の研究型総合大学をめざす総長ビジョンに基づいて、男女共同参画・社会学連携室が新たに設置されました。同室担当の理事・副学長を拝命しましたので、ご挨拶申し上げます。

育児や介護と仕事をトータルで考えることにより、どのようなライフステージにあっても、一人ひとりの構成員がその能力と個性を最大限に発揮できる働きがいのある職場環境、魅力ある研究環境作りを加速化させるとともに、21世紀懷徳堂の活動等をはじめとした、大学と市民を双方向的につなぐ知のアウトリーチ活動をマルチ展開していきます。全学の皆様のご支援とご協力のもとに、ボトムアップでじっくりと練りあげられた男女共同参画アクションプランの推進と社会学連携活動とのシナジー効果により、大阪大学の活性化と発展に貢献したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【略歴】

昭54. 3 東京大学大学院人文科学研究科言語学専門課程第1種博士課程単位修得退学

61. 6 横浜国立大学講師教育学部

63. 4 横浜国立大学助教授教育学部

平 9.10 横浜国立大学助教授教育人間科学部

10. 4 大阪大学教授文学部

11. 2 博士(文学)(大阪大学)

11. 4 大阪大学教授大学院文学研究科

19. 8 大阪大学大学教育実践センター長(平24. 3まで)

27. 3 定年退職

27. 4 大阪大学特任教授(常勤) 男女共同参画推進オフィス

27. 8 国立大学法人大阪大学理事・副学長

理事
(人事労務、事務組織担当)

大木 高仁

(おおき たかひと)



このたび、西尾新総長の下、改めて理事を拝命し、人事労務と事務組織を受け持つことになりました。

もとより、「人材」は大学にとって最も重要な資産であり、その観点から積極的に人事に関するシステム・運用の改善を進めてきました。大学が多様な経験、知識、感性を有する人々に支えられるようにすることや、安心してその経験・能力を発揮できるよう環境を整えることは、大学の重要な基盤を築くものであると認識しております。

一方、事務組織面では、特に、教育・国際の学内体制の整備に合わせて、本部事務機構の企画機能と連動した部局事務体制を整備し、関係する改革施策を全学的に実施し得るようにしたいと考えております。

皆様には本学の教育・研究のパフォーマンスをより向上させるべく、人事や事務組織に関する建設的なアイデアを積極的に提案下さるよう、お願い申し上げます。

【略歴】

昭58. 4 文部省入省

平 9. 7 文部省教育助成局教職員課教員研修企画官

11. 4 文部省学術国際局企画官

12. 4 文部省大臣官房企画官

13. 7 文化庁文化財部記念物課長

15. 7 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課長

16. 8 警察庁生活安全局少年課長

18. 7 文部科学省初等中等教育局教職員課長

21. 7 文化庁長官官房政策課長

24. 1 文化庁文化部長

25. 4 文部科学省大臣官房審議官

26. 2 国立大学法人大阪大学理事

各室の紹介

総合計画室

審議事項

(1) 将来構想の取りまとめ

(2) 中期目標・中期計画及び年度計画の取りまとめ

(3) 評価

(4) 教育研究組織の整備

(5) 教員の配置計画

(6) 施設マネジメント

(7) その他大学運営に関する重要事項

室長

三成賢次

理事・副学長

室員(10名)

川端亮

人間科学研究科教授

高橋美恵子

外国語学部教授
言語文化研究科教授

澤木昌典

工学研究科教授

村田正幸

情報科学研究科教授

村上伸也

歯学研究科教授

高倉伸幸

微生物病研究所教授

佐藤規朗

財務部長

秋山明寛

施設部長

松本光弘

総務企画部総務課長

西久美子

総長室長

教育室

審議事項

(1) 教育に係る将来構想

(2) 教育に係る中期目標・中期計画及び年度計画

(3) 教育に係る組織及び施設の運営

(4) 入学者選抜

(5) 学生の身分並びに学生生活の充実及び向上

(6) その他教育に関する重要事項

室長

小林傳司

理事・副学長

室員(13名)

進藤修一

言語文化研究科教授

松繁寿和

国際公共政策研究科教授

佐藤宏介

基礎工学研究科教授

田島節子

理学研究科教授

大野ゆう子

医学系研究科教授

竹村治雄

サイバーメディアセンター教授

下田正

全学教育推進機構長

深瀬浩一

インターナショナルカレッジ長

川嶋太津夫

グローバルアドミッションズ
オフィス長

岩谷良則

学生生活委員会委員長
(医学系研究科教授)

水野晴央

教育推進部長

徳野正昭

教育推進部次長

田口耕二

教育推進部教育企画課長

研究推進室

審議事項

(1) 研究に係る将来構想

(2) 研究に係る中期目標・中期計画及び年度計画

(3) 研究に係る組織及び施設の運営

(4) 研究の推進

(5) その他研究に関する重要事項

室長

八木康史

理事・副学長

室員(10名)

藤岡穰

文学研究科教授

北岡良雄

基礎工学研究科教授

熊ノ郷淳

医学系研究科教授

近藤滋

生命機能研究科教授

高木淳一

蛋白質研究所教授

西村博明

レーザーエネルギー学研究センター教授

吉田秀保

研究推進部長

古市智

研究推進部研究推進課長

池田雅夫

大型教育研究プロジェクト支援室特任教授(常勤)

菊田隆

大型教育研究プロジェクト支援室学術政策研究員

財務室

審議事項

(1) 財務に係る将来構想

(2) 財務に係る中期目標・中期計画及び年度計画

(3) 財務基盤強化

(4) 予算配分及び決算

(5) 資金及び資産の管理及び運用

(6) その他財務に関する重要事項

室 長

小 川 哲 生

理事・副学長

室 員(7名)

山 根 聡

言語文化研究科教授

大 西 匡 光

経済学研究科教授

尾 崎 雅 則

工学研究科教授

木 村 正

医学系研究科教授

医学部附属病院副病院長

古 澤 孝 弘

産業科学研究所教授

佐 藤 規 朗

財務部長

上 原 貴 之

財務部財務課長

グローバル連携室

審議事項

(1) グローバル連携に係る将来構想

(2) グローバル連携に係る中期目標・中期計画及び年度計画

(3) グローバル連携に係る組織及び施設の運営

(4) 教育研究環境のグローバル化

(5) 海外の教育研究機関との連携

(6) グローバル連携の支援体制

(7) 国際的な情報発信及び情報収集

(8) その他グローバル連携に関する重要事項

室 長

星 野 俊 也

理事・副学長

室 員 (9名)

由 本 陽 子

言語文化研究科教授

長 田 真 里

法学研究科教授

藤 原 融

情報科学研究科教授

平 田 收 正

薬学研究科教授

近 藤 勝 義

接合科学研究所教授

有 川 友 子

国際教育交流センター長

大 藤 生 気

総務企画部長

満 尾 俊 一

総務企画部国際交流課長

今 井 京 子

教育推進部学生交流推進課長

産学連携室

審議事項

(1) 産学官連携に係る将来構想

(2) 産学官連携に係る中期目標・中期計画及び年度計画

(3) 産学官連携に係る組織及び施設の運営

(4) 産学官連携の推進

(5) 知的財産

(6) 出資事業

(7) 利益相反

(8) その他産学官連携に関する重要事項

室 長

吉 川 秀 樹

理事・副学長

室 員 (9名)

北 村 亘

法学研究科教授

豊 田 岐 聡

理学研究科教授

田 中 敏 嗣

工学研究科教授

坂 田 泰 史

医学系研究科教授

永 井 健 治

産業科学研究所教授

正 城 敏 博

産学連携本部教授

北 岡 康 夫

産学連携本部教授

吉 田 秀 保

研究推進部長

松 宮 孝 明

研究推進部産学連携課長

男女共同参画・社会学連携室

審議事項

(1) 男女共同参画・社会学連携に係る将来構想

(2) 男女共同参画・社会学連携に係る中期目標・中期計画及び年度計画

(3) 男女共同参画又は社会学連携に係る組織又は施設の運営

(4) 男女共同参画及び社会学連携の推進

(5) その他男女共同参画・社会学連携に関する重要事項

室長

工藤 眞由美

理事・副学長

室員(10名)

牟田 和 恵

人間科学研究科教授

大谷 順 子

人間科学研究科教授

水島 郁 子

高等司法研究科教授

藤原 康 文

工学研究科教授

西村 理 行

歯学研究科教授

上田 貴 洋

総合学術博物館教授

永田 靖

21世紀懷徳堂学主

藤原 強

広報・社会学連携オフィス
社会学連携課長

亀井 保 男

総務企画部多様な人材活用
推進支援室長

松本 紀 文

広報・社会学連携オフィス
オフィス長補佐

人事労務室

審議事項

(1) 人事労務に係る将来構想

(2) 人事労務に係る中期目標・中期計画及び
年度計画

(3) 給与等に係る施策

(4) ポスト管理

(5) その他人事労務に関する重要事項

室 長

大 木 高 仁 理事

室 員 (6名)

茶 園 成 樹 高等司法研究科教授

加 賀 有津子 工学研究科教授

野 口 眞三郎 医学系研究科教授

工 藤 喬 保健センター教授

大 藤 生 気 総務企画部長

亀 井 保 男 総務企画部人事課長

人 事

— 総長 —

平成 27 年 8 月 26 日	西尾章治郎	
------------------	-------	--

— 理事・副学長 —

平成 27 年 8 月 26 日	三成賢次	総合計画、評価、広報担当
	小林傳司	教育担当
	八木康史	研究、リスク管理担当
	小川哲生	財務、情報担当
	星野俊也	グローバル連携担当
	吉川秀樹	産学連携、病院運営担当
	工藤眞由美	男女共同参画、社会学連携担当

— 理事 —

平成 27 年 8 月 26 日	大木高仁	人事労務、事務組織担当
------------------	------	-------------

— 総長参与 —

平成 27 年 8 月 31 日	田中敏宏 (工学研究科長)	
	河原源太 (基礎工学研究科長)	
	尾上孝雄 (情報科学研究科長)	
	東明彦 (外国語学部長)	
	金倉譲 (医学部附属病院長)	
	永田靖 (総合博物館長)	
	下田正 (全学教育推進機構長)	

— 総長特命補佐 —

平成 27 年 8 月 31 日	飯國洋二 (基礎工学研究科教授)	ハラスメント対策関係
	瀧原圭子 (保健センター長)	健康関係
	岩谷良則 (医学系研究科教授・学生生活委員会委員長)	学生生活関係

平成 27 年 9 月 16 日

馬場章夫 (産学連携本部特任教授 (常勤))	出資事業関係
------------------------	--------

— 新部長 —

平成 27 年 8 月 26 日	経済学研究科・経済学部長	堂目卓生
	理学研究科・理学部長	常深博
	工学研究科・工学部長	田中敏宏
	情報科学研究科長	尾上孝雄
	附属図書館長	小川哲生
	産業科学研究所長	中谷和彦
	総合学術博物館長	永田靖
	コミュニケーションデザイン・センター長	池田光穂
	サイバーメディアセンター長	下條真司
	中之島センター長	工藤眞由美

平成 27 年 10 月 1 日

低温センター長	中谷亮一
---------	------

平成 27 年 8 月 31 日	大阪大学経営協議会学外委員 (新規)	鈴木直 (関西大学システム理工学部教授)
------------------	--------------------	----------------------

— 新施設長 —

平成 27 年 8 月 26 日	工学研究科附属構造・機能先進材料デザイン教育研究センター長	藤本慎司
平成 27 年 9 月 11 日	理学研究科附属基礎理学プロジェクト研究センター長	豊田岐聡

— 新教授 —

平成 27 年 8 月 1 日	田中宏	【所 属】産学連携本部 【最終学歴】S61.3 東北大学大学院工学研究科情報科学専攻修士課程修了	【前職】総務省
平成 27 年 8 月 16 日	藤岡慎介	【所 属】レーザーエネルギー学研究センター レーザー核融合学研究部門 【最終学歴】H13.3 大阪大学大学院工学研究科電子情報エネルギー工学専攻博士前期課程修了	【前職】本学准教授
平成 27 年 9 月 1 日	千葉恵美子	【所 属】高等司法研究科 法務専攻 【最終学歴】S53.3 北海道大学大学院法学研究科民事法専攻修士課程修了	【前職】名古屋大学
	北田孝典	【所 属】工学研究科 環境・エネルギー工学専攻量子エネルギー工学講座 【最終学歴】H4.3 大阪大学大学院工学研究科原子力工学専攻博士前期課程修了	【前職】本学准教授
平成 27 年 10 月 1 日	宮地充子	【所 属】工学研究科 電気電子情報工学専攻通信システム工学講座 【最終学歴】H2.3 大阪大学大学院理学研究科数学専攻博士前期課程修了	【前職】北陸先端科学技術大学院大学
	橋爪章仁	【所 属】理学研究科 高分子科学専攻高分子構造・物性・機能論講座 【最終学歴】H9.3 大阪大学大学院理学研究科高分子学専攻博士後期課程修了	【前職】本学准教授
	猪阪善隆	【所 属】医学系研究科 医学専攻内科学講座 【最終学歴】H6.3 大阪大学大学院医学研究科内科系専攻博士課程修了	【前職】本学准教授
	蓮生郁代	【所 属】国際公共政策研究科 国際公共政策専攻国際公益システム講座 【最終学歴】H19.3 一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了	【前職】本学准教授
	甲斐歳恵	【所 属】生命機能研究科 生命機能専攻時空生物学講座 【最終学歴】H10.3 大阪大学大学院理学研究科生理学専攻博士後期課程修了	【前職】Temasek Lifesciences Laboratory
	KROZEWSKI GEROLD MICHAEL	【所 属】未来戦略機構 第九部門 【最終学歴】H8.6 University of Geneva Graduate Institute of International Studies, Ph.D program(International History) 修了	【前職】University of the Free State

訃報

経済学部	北野利信 名誉教授	平成 27 年 7 月 31 日 逝去
医学部	高井信一郎 名誉教授	平成 27 年 8 月 13 日 逝去
微生物病研究所	加藤四郎 名誉教授	平成 27 年 9 月 18 日 逝去
人間科学部	大村英昭 名誉教授	平成 27 年 9 月 21 日 逝去
工学研究科	村岡浩爾 名誉教授	平成 27 年 10 月 13 日 逝去